

# おつちぬきさき 乙父貫前神社のお神輿お川瀬下げ神事

(上野村)

乙父貫前神社のお神輿お川瀬下げ神事は、乙父貫前神社の春の祭典にあたり祭神をお神輿に遷し、行列を仕立てて神流川の御神座に祀る神事です。

羽織袴姿の青年 8 名に担がれたお神輿は、山の中腹にある神社からお囃子を奏でながら川瀬に向かいます。担ぎ手は、息がご神体にかからないよう半紙を口にくわえます。神流川の川瀬のに設けられた御神座（台座）を中心に 3 回まわった後、御神座に据え神官が祝詞を奏上します。

群馬県内ではかつて山中領と呼ばれた地域（現在の神流町・上野村）だけに残された行事で、平成 17 年 3 月 25 日に群馬県の重要無形民俗文化財に指定されました。

珍しい伝統行事のため、多くのカメラマンが訪れます。

また、午後には祭典余興として地元消防団員による舞踊や芝居が乙父構造改善センターにて行われます。

- ・期 日 平成 21 年 4 月 5 日（日） 午前 10 時頃～
- ・場 所 群馬県多野郡上野村乙父 乙父神社境内
- ・アクセス 上信越自動車道下仁田 I C から県道 45 号（下仁田上野）線湯の沢トンネル経由 35 分（車）

問い合わせ 上野村教育委員会 0274 - 59 - 2657

次頁に続く

神流川のお川瀬下げ神事の様子（平成 19 年 4 月 5 日）

